

令和4年10月28日

令和4年度病害虫発生予察注意報（第5号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：ウラナミシジミ
2. 対象作物：サヤエンドウ、実エンドウ
3. 対象地域：日高地域
4. 発生量：多
5. 発生時期：9月～11月
6. 注意報発表の根拠
 - 1) 10月下旬の日高地域（御坊市、印南町）の露地栽培エンドウ類での発生状況は以下のとおりである。
 - ①被害発生ほ場率は93%（平成67%）、被害株率は34.0%（平成23.9%）と平年に比べて高い。被害さや率は11.2%であり、多発した平成28年（15.2%）と同程度である。
 - ②1花あたりの卵数は0.32個（平成0.18個）と平年に比べて多い。
 - 2) 大阪管区气象台の発表によると、向こう1か月（10月22日～11月21日）の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%である。このことから例年に比べて被害が長期化するおそれがある。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 食入加害されたさやは、ほ場の外に持ち出し適切に処分する。
 - 2) 主な産卵部位である花や蕾に薬液が十分かかるよう、7～10日間隔で防除を行う。
 - 3) トレボン乳剤、アディオオン乳剤、パダンSG水溶剤は、1齢幼虫のさやへの食入阻止効果が高い。
 - 4) 防除資料として、農業試験場ニュース125号
(https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/gaiyou/001/nougyoushikenjou/noushineews/noushineews125_d/fil/noushineews_125_mushi.pdf)を参照する。
 - 5) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>)を参照し、適正に使用する。



写真1 花や蕾に産卵するウラナミシジミ成虫



写真2 蕾に産卵された卵と1齢幼虫（直ぐにさやに食入）



写真3 さやを食害する幼虫

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300